

PILOT magazine

www.pilotfree.com

April, 2013

Culture of SAPPORO / HOKKAIDO / JAPAN
SINCE 2004





色や形、大きさ、素材など、バッグほど多様なアイテムは他にない。
 近所へぶらり買い物に行くトートバッグ。
 教科書やノートを詰め込んだショルダーバッグ。
 初デートへ出かけるハンドバッグ。
 一泊二日の小旅行へ連れて行くポストンバッグ。
 さまざまな場面で使われるバッグは、同じ人生を共有する特別な存在だ。
 さあ、今日も荷物を詰めて、そろそろ出かけよう。

COME BAG!



岩谷 洸太郎

『ANATOMICA SAPPORO』スタッフ

SMALL CARRYALL / Brady / ¥20,790-



「フィッシングバッグといえは『Brady』の名前が必ず挙がるほど、イギリスを代表する老舗バッグブランド。このバッグは4年程前に購入したのですが、サイズや収納など使い勝手が抜群。季節問わずキャンプや釣りへ行くことが多いので、アウトドアでもタウンユースでもシーンを選ばず、持っていて違和感のないものが欲しかったので、まさに探し求めていたバッグでした。バッグを選ぶポイントには、アウトターを選ばない素材感が決め手です。仕事柄いろんなタイプの洋服を着るので、コーディネートの主役ではなく、できるだけ控えめな雰囲気のものが好みます。」



河田 裕一

『UNKNOWN VINTAGE STORE』スタッフ

ポストンバッグ / J.W. Hulme / 私物



「徹底されたメイド・イン・USAによる老舗バッグブランド『J.W. Hulme』のポストンバッグは、5〜6年前に職場の仲間達からのプレゼントでもらったもので、以来ずっと大切に使っています。レザーとキャンバス地の組み合わせが絶妙で、使い込むほどに醸し出される味わいが気に入っています。ポケットも多く、収納力も抜群なので、出張や旅行にも活躍してくれます。個人的には大きいバッグが好みで、男はやっぱりかいは、バックが格好いいと思う。出かける時は、どかいバッグを持つか、サイフだけなら手ぶらか、どちらかですね。」

ワークジャケット (Vintage)
 US ARMY パンツ
 イタリア軍シューズ
 エプロン
 (全て私物)

『UNKNOWN VINTAGE STORE』
 add: 札幌市南2条西1丁目 第3広和ビル イースト1F
 tel: 011-251-7301
 url: http://www.unknown-sapporo.com

サテンスカーフ / ANATOMICA / ¥11,550-
 ウェスタンシャツ / ANATOMICA / ¥23,100-
 ハイカットスニーカー / WAKOUWA / ¥19,740-

『ANATOMICA SAPPORO』
 add: 札幌市中央区南3条西8丁目 第一ビル1F
 tel: 011-219-1231
 url: http://anatomica-sapporo.com/blog/

大西 渉

『XLARGE® / X-girl SAPPORO』スタッフ

CANVAS SMALL DUFFLE BAG / XLARGE® / ¥8,400-

「今季のシーズンマテリアルのコレクションからリリースされたテマである旅に欠かせないダッフルバッグ。耐久性に優れたキャンバス素材、オリジナルデザインの特製が採用されています。特に気に入っているのは、ステートを始めてから購入したデッドキベルトのついたバッグ。バッグを選ぶポイントは、とにかく量が入ること。いろいろなものを何でもたくさん入れたくて、常にパンパンの状態にしてバッグの形を保つようにもしています。」



HOODED NYLON JACKET / XLARGE® / ¥16,800-
WORK SHIRT / XLARGE® / ¥11,550-
FLORAL SHIRT / XLARGE® / ¥12,600-
REVERSIBLE SHORT / XLARGE® / ¥13,650-
ZX8000 / adidas Originals / ¥18,900-

土田 明華

『XLARGE® / X-girl SAPPORO』スタッフ

SK8 BODY BAG / X-girl / ¥8,400-

「タブの配色がポイントのポテターバッグは、外と内側にポケット付き。サイズもデイリーに使いやすいのが◎。本体内側にはキーホルダー付き！大学進学の際に買った革の大きな肩掛けバッグは、お気に入りでも使っています。革製品はやはり味が出るので、お気に入りデザインだともう手放せないです。洋服によってバッグを変えるようにしているの、その時のスタイリングの雰囲気や大事にしています。できるだけ無難な色は選ばないようにしています。」



SUNSET SWEAT PULLOVER / X-girl / ¥12,390-
SHAMBRAY SHIRT DRESS / X-girl / ¥14,700-

『XLARGE® / X-girl SAPPORO』
add : 札幌市中央区南3条2丁目3
WALLHALL-1F
tel : 011-271-2276
url : http://stima.jpn.com

傳田 梓乃

『JUILLET』スタッフ

ゴートショルダーバッグ / STYLE CRAFT / ¥65,100-

「今年の2月頃に購入したばかりの『STYLE CRAFT』のショルダーバッグは、付属の金具によってショルダー、トートの使い分けが可能な2WAYタイプ。実は、ソニア・パーク氏の『ジョッピンググマニユアル』で一目惚れをして以来、ずっと欲しいと思っていたのですが、どうしても欲しい！という気持ちを抑えられなくなり、ついに3年越しの思いを叶えて購入しました。バッグを選ぶ際のポイントは、ビッグと来るかどうか(笑)。容量と使い勝手の良さも重要で、素材的にはレザーが好きです。仕事では大きめのものを使うことが多いのですが、プライベートではお財布と諸々が入るくらいのサイズを使うことがほとんどです。」



ダスターコート /
GARMENT REPRODUCTION OF WORKERS / ¥37,800-
ベインターパンツ / Daily Wardrobe Industry / ¥16,800-
ハイカットスニーカー / ARMEN / ¥6,615-
ストール / Khadi and Co / ¥16,800-

『JUILLET』
add : 札幌市中央区北5条西2丁目
札幌ステラプレイスEAST-2F
tel : 011-209-5448
url : http://juillet7x.blog.jp

田中 みか

『XLARGE® / X-girl SAPPORO STELLAR PLACE』スタッフ

X-girl x Dickies "RUSH" BACK PACK / X-girl / ¥11,550-

「メンズライクなアメカジで人気の『Dickies』とのコラボによるバックバッグ。『1961』オリジナルカラーフィックが施されたキャンバス生地、カラフルなプリントがインパクト大です。バッグを選ぶポイントは、荷物が多いので大きめで、女性の子っぽいのより、カジュアルな感じのものが好きです。特に気に入っているバッグは、2年くらい前に手に入れたブラックのフリンジバッグ。ひと目惚れして、その場で即購入したのですが、今でも愛用しています。」

小原 ひかる

『XLARGE® / X-girl SAPPORO STELLAR PLACE』スタッフ

CANVAS TOTE BAG / XLARGE® / ¥9,450-

「キャンバス地のトートバッグは、シンプルなデザインで合わせやすく、サイズも大きめで荷物がたくさん入ります。内ポケットも多く付いていて、機能性にも優れています。バッグを選ぶポイントは、使いやすさと合わせやすさで、使う時期も考えながら選んでいます。特に気に入っているバッグは、父親からのプレゼントで貰ったバッグ。ブランド物ではありませんが、手渡してくれた時の、照れくさそうな不器用な父親の笑顔を、今でもよく覚えています。ポロポロになるまで大切に使い続けます。」

ハルコ

『CAL』スタッフ

ROCCO IN BLACK PEBBLE LAMB WITH MATTE BLACK / ALEXANDER WANG / 私物

「底面にスタッズが並んだデザインの牛革バッグ。側にも内にもポケットが付いていないし、何も中に入っていないなくても重たいという、その扱いにくさが逆に気に入っています(笑)。1、2年前にロサンゼルス『Red Sea』にて800ドルくらいで購入しました。ふらりとショップへ立ち寄ったのですが、ちょうどそのタイミングでこのバッグが入荷してきて、スタッフさんが店頭へ出す準備をしているのを見て、うちに、勝手に運命を感じて購入を決めました(笑)。バッグを選ぶポイントは、雑に扱っても丈夫なもの、自分のスタイルとしてラフな服装にも合わせやすく、さりげなく存在感があるものが好きです。」



ネオンカラーニット / REVERSE / ¥7,350-
ストライプショートパンツ / REVERSE / ¥8,190-
トロピカル柄スニーカー / JeffreyCampbell / ¥9,240-

『CAL』
add : 札幌市中央区南2条西3丁目1-2
三番ビル1F-3F
tel : 011-242-0350
url : http://www.hr73.com



NEON BORDER TOP / X-girl / ¥8,925-
DUNGAREE BOYFRIEND SHIRT / X-girl / ¥12,600-
JOHNNY SHORTS / X-girl / ¥10,290-
SHORT RAIN BOOTS / X-girl / ¥14,000-



PLAID HALF SLEEVE SH / XLARGE® / ¥12,600-
OG PRINTED DENIM PT / XLARGE® / ¥14,700-



『XLARGE® / X-girl SAPPORO STELLAR PLACE』
add : 札幌市中央区北5条西2丁目
札幌ステラプレイス CENTER-5 F
tel : 011-209-5502
url : http://stima.jpn.com

Fairground Attraction

丹治 久美子

自分にしかできない表現を追求 フェルトバッグが導く運命の出会い

フェルト作家・丹治久美子氏が手掛ける【Fairground Attraction】のフェルトバッグは、羊毛を何層も重ねて縮絨する手法「フェルトメイキング」による、縫い目のない一枚フェルト仕立てで、全ての工程が手作業で製作されている。風景に溶け込むように、そのバッグを持つ人はもちろん、それを見る人もが楽しめるようにイメージされたデザインが特徴で、模様にはそれぞれタイトルが付けられ、ストーリーが想像できるように作り込まれている。「トリフェルトバッグ」は、「トリが運ぶ模様の物語」として、毎

ない表現を追求したその作品は、まさに自身そのもの。彼女が創り出しているのはプロダクトではなく、あくまで作品であり、その境界線を手探りで模索する。売れると寂しくなつてまた作る...という繰り返しで、本当はひとつも手放したくない気持ちがある。もちろん、買ってもらいたいお客様には感謝して、いつも一生溶けないアメ玉を挿している感じが、一喜一憂しながら、自分と向き合つて物づくりをしています。私が取り組んでいるフェルトバッグは、自分のバックグラウンドと、作品のストーリーも一緒にお譲りしている気がします。」

作品はインターネットでの通信販売以外では、店舗での販売などは意図

的に行われておらず、全国の百貨店で開催される企画展に年数回参加し、作家本人による対面によって販売される。作家本人が直接伝える、作品ひとつひとつに込めた思いやストーリー。ふと目を奪われたバッグとの運命的な出会いは、やがて確信に変わり、新たな物語が始まる。「百貨店の方から『お客様はどこにでもいらっしゃいます』とアドバイスもいただいたことは、自分にとって転機となりました。それから1年くらい地方をまわり、人との出会いから勉強になったことも多かったですし、百貨店に育てていただいたことは大きいです。もちろん、出展するからには売りたいといけません。売りたい」とか「売れる物を作ろう」という気持ちにはならなくて、

企画が楽しいものになるように、こちらから提案したり奮闘するのがとても楽しいです。一日何万人も来場する場所です。いかにお客様に足を止めてもらえるか考えたり、そこで新しい出会いがとて嬉しいんです。会期中、何度も足を運んでいただけの方、作品を見て泣いてくださる方、遠路はるばる探して会場までいらしていただける方、いろんな方がいます。自分のことではないように感じるときもありますが、「ここ数年で、何かに乗った気もします。関わること人も多くなってきたので、私も作品も少しだけ大人になったのかもかもしれません。これからは、見たいだけのように頑張ります。」



スクエアカーバッグ(大) / stranger 線と線がつながる世界 ※新柄 / ¥54,600- (5色展開)
羊毛では珍しい蛍光色を使用。縮む時にラインが羊毛と溶け込まないよう工夫が施されている。



トリフェルトバッグ(大) / merry leaf 神様の言うとおり ※新柄 / ¥52,500- (5色展開)
葉っぱの模様を表現するため、シルクの糸と一緒に巻き込まれている。



年新作の模様を製作しています。全て手作業なので、機械では決して作ることのできない作り方です。個体によって、模様の入り方も雰囲気も一点一点違いますし、生地にも面白さがあるので、アクセサリー感覚で一緒に連れて歩きたくなるような遊び心のあるバッグになっています。」
作品の定番(6種類の形と定番の模様(18種))は、展開される場所によって色や形の組み合わせが変わっている。その作品は、羊毛特有の優しいイメージを生かしながら、素材が持つ特質や面白さを見事に引き出し、自身の表現するツールとしてその個性や存在感を存分に発揮している。「私の取り組んでいるフェルトメイキングは、とても。靴、とは括ることのできず、模様のストーリー性のよくなるもの、なんとなくバッグに仕立てられたものというイメージです。羊毛の特質を生かして作られる模様は、異素材を巻き込ませることで形を絵を描くように模様に面白造形を添えて描くのが、偶然の面白いデザインながら作業しています。インスピレーションを得ているのは、好きな音楽や昔読んだ本だったり、旅先で見たり感じたことを形にしたという欲求不満から。それと対局に、「この素材を巻き込ませたらどうなるんだろう?」という興味からの実験でもあります。物づくりをしている時は、自分と向き合いながら素材と格闘しているのでも、疲れますが、同時に誰にも邪魔されたくない、自分にとって至福の時間でもあります。」

丹治氏は自身で製作したバッグを決して持ち歩かない。自分にしかでき

【Fairground Attraction】
仙台出身・札幌在住の丹治久美子氏が手掛けるフェルトブランド。羊毛を薄く何層も重ねて縮絨する手法「フェルトメイキング」によって、世界観を感じさせる個性的な模様のフェルトバッグを中心に展開。その作品は、バッグを持つ人はもちろん、その姿を目にする人も楽しめるよう、「白一色に染まる北海道の冬」に映えるデザインが意図されている。
url : <http://www.fairground-attraction.com>

【札幌スタイルフェア】
@! そごう 広島店 | 新館-1F
4/30 (Tue) ~ 5/6 (Mon)

【フェアグラウンドアトラクション 新作オーダーフェア】
@! 丸井今井 札幌本店 | 本館-2F (ハンドバッグコーナー)
6/12 (Wed) ~ 6/18 (Tue)

【Joy of life ~ お気に入りにお目当てに! (企画展)】
@! 日本橋三越本店 | 本館-5F スペース #5
9/25 (Wed) ~ 10/9 (Wed)



くさかカバン店 日下 功二

日々の暮らしを喜び、人生と寄り添う鞆 鞆職人が伝える、物づくりの原点と心

東京で革製品製造に関わって来た日下功二氏が、1995年に当時実家のあった三笠市にて工房をスタート。1999年に札幌へ進出し、2007年に現在の場所に工房を兼ねたショップをオープン。北海道のクリエイティブシーンにおいて、創成期から今なお第一線で活動を続ける、まさしく先駆者的存在である。「時が流れても普遍的な物として残り続けるもの。シンプルな生き方、そこに寄り添うパートナーとなり得るもの。シンプルでベーシックで美しく丈夫な鞆。いつかどこかで出会っ

ているような、でも何にも似ていない。ありそうだけれどなかなか無い、記憶の中にあって探していた。そんな鞆を目指して作り続けています。「ミュージックケース、や手縫いの「ブリフケース、など、英国っぽい雰囲気のある鞆。プライドルレザーやソリッドプラスの金具やアイリッシュリネンなど、厳選した素材にもストーリーがあり、伝えたいことがその中にもあります。」

日下功二氏自身は、決して多くを語らない。しかし、そのこだわりは製品に触ればすぐに伝わるはずだ。その妥協の一切ない手仕事から創り出されるバッグは、全国の顧客から絶大な信頼と共感を得ている。「自分達が使いたい鞆、自分達の好きな鞆に使ってもらいたい鞆。そこを一番大切に考えています。市場やエンドユーザーの気持ちや要望も受け止めますが、作ることに関するの最優先は自分達の想いです。限られた数しか作れない中、わがままと思われるかもしれませんが、その想いを優先させていただいた結果です。自分達の考えを理解してくれる人が手に取ってくればいい。そもそも自分達の生産量なんて少ないし、それを気になって使ってくださる方がいて、製作量と販売量のバランスがほぼ合ってさえいけば十分成立するのかもしれない。けれど、それだけで終わるつもりは全く、その自分達の考えを理解してもらいたいの、ひとつの手段としてお店を構えています。お店の雰囲気、在り様から伝えられることはとても多いと思っています。」

長らく経済が低迷する北海道において、オリジナルやショップを「継続」することは、想像以上の苦難や困難が伴う。これまで幾つもの逆境を乗り越えてきたであろう彼は、今の現状を果たしてどのようにとらえているのだろうか。

「時に気持ち折れそうになることも何度もありました。けれど、自分達らしさを失わずにやっつこうと思えば成立させられるのか。どうしたら伝えられるのか。そんなことを考えてやってきました。それがようやく形になってきた気がします。私達が細々とでもこういう形で続けてきてこれたことが、革関係を含め札幌で何か物づくりで身を立てていきたいと思う方の、少しでも叩き台になればと考えています。そのためにも、もっと頑張ります。若い人が希望を持てるようにはしたいと思っています。北海道・札幌で活動していても、全国や海外を相手にした物づくりはできるよ

職人として決しておられることのないモノづくりの姿勢。その目は真つすぐに、鞆と真摯に向き合い、ひたむきに努力をし、創り続ける毎日。そして、それは今日も、たぶん明日も変わることはない。「屋号を「くさかカバン店」と変え、今後は「日下公司」の製品だけではなく、札幌に縁のある職人の革製品や革以外の鞆など、他の職人の製品も取り扱っていくことと準備しています。革での物づくりを身に付けたい方へ向けて、教室もまた始めました。私達の技術と知識を、微力ですが伝えていければと考えています。教室で身に付けたことをもとに、各自身の物づくりに生かしていくてくれる人が育てばいいですね。「日下公司」自体は大きくすることは考えていません。目指すことは、自分達が素敵だと思えて、そして居心地が良い環境を作っていくこと。それを他の人にも共感してもらええること。それが守れる形を作り、続けていきたいと考えています。」

スター / 日下公司 / ¥105,000- ショ・レ・マロン / 日下公司 / ¥88,200-



ミュージックケース (B4) / 日下公司 / ¥84,000-



日下 功二
1963年3月11日、芦別市出身。東京で革製品の販売、修理などを行い、1994年に東京都立足立技術専門学校に入学。1995年に三笠市で工房をスタート。1999年に札幌へ進出し、2007年に現在の場所に工房兼ショップをオープン。

「くさかカバン店」
add: 札幌市中央区南3条西8丁目7-3 (狸小路8丁目)
tel: 011-210-7388
url: http://www.kusaka.net



Swallowdale

“日々の小さな旅”へ一緒にお出かけ
持つことがもっと愉しくなるレザーバッグ

独自の感性とこだわりによる提案で、根強い支持を集めるオンラインショップ「HARMONICS」が、昨年11月に【革工房 mid】と共同で、レザーアイテムを主体とするオリジナルライン「Swallowdale」をスタート。上質な素材を用いて、確かな経験と技術によるオリジナルアイテムを製作その第一弾となる「レザーショルダーバッグ」がリリースされた。「以前から革製品を作りたいという目標があったのですが、自分自身でも心から欲しいと思えるシンプルなレザーバッグが、なかなか見つからなかったのもきっかけのひとつです。製作過程では、とにかく無駄なデザインを削ぎ落すことから始まりました。上質な素材を使い、シンプルなデザインの中にも使いやすさがあり、環境が変わっても飽きずに使っていただけるよう意識しています。経年の変化によって、年々味わいが増していくことを基本としています。」

【HARMONICS】
ファッション・小物雑貨・キッチン・インテリア・DIYなど、生活雑貨を中心に取り揃えるオンラインショップ。たとえキズが付いたり色褪せたとしても、それが味となり愛着が湧き、共に歳を重ねていく“もの”との出会いを提供。トートバッグ・アクセサリー・オーガニックタオル・フォトフレーム・器など、独自のこだわりを追求したオリジナルも多数に渡り展開している。
url : <http://www.harmonic-s.com>

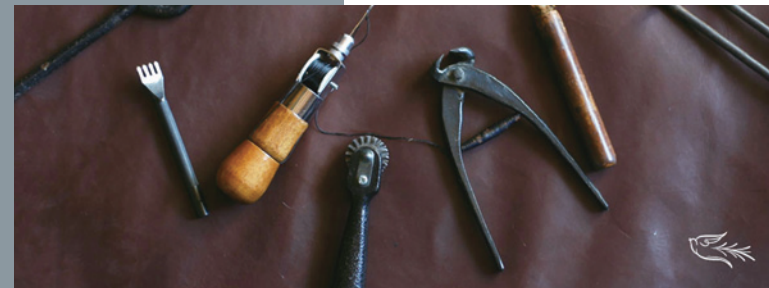
no1.shoulder bag / Swallowdale / ¥36,800-
上質な一枚革を使用したショルダーバッグ。
ショルダー部分は、調節と取り外しが可能。



なるかもしれない。そんな想いがブランド名にもそっと込められている。「ツバメが空を飛び回るように自由な気持ちで。」というコンセプトをもとに製作しています。「Swallowdale」のブランド名は、いつでも童心を忘れず、シンプルで自由に、そんな気持ちを込めて、子供の頃大好きだったお話で、イギリスの児童文学作家アサー・ランサム

氏が書いた子供達の冒険物語「和訳：ツバメの谷から付けました。」イメーじされているのは、その人によって表情が変わるバッグ、その人色に染まられるバッグ、それぞれが日常生活において、また使う各々の個性が反映され、全く異なる表情へ変化していく。牛ヌメ革を柔らかくした「シボ出しオイルレザー」は、

ヴィンテージのような風合が特徴的で、使い込むほどに革の魅力が増していきます。柔らか過ぎないこの革は、使い良いようにその人の体に馴染み、少しずつ変化していきます。同じ時を共有することで、自分だけの味わい深いバッグとなり、きつと愛着を持っていただける。ことでしょう。「日々の小さな旅へ、ぜひ一緒に連れて行っていただきたいです。」



CI-VA OPACAレザートートバッグ
CI-VA / ¥37,800-

matiere naturelle plus

使い込むほど柔らかく馴染み、味わいが増していく
イタリアの伝統的技法を守るレザーバッグ



CI-VA OPACAレザースクエアトートバッグ
CI-VA / ¥34,650-

【CI-VA】
1978年、パオロ・シオーニ氏がフィレンツェで創業。イタリア中部トスカーナ地方に伝わる伝統的な技法を守り続ける靴メーカー。もともとは革を使用した狩猟用の小物などを家族で作り、自分の店で販売したのが始まり。1980年代に入り、皮革製品作りの技術を活かして、バッグや革小物などの生産を本格的に開始。今もなおフィレンツェに工場を置き、創業以来変わることなく手間と時間のかかるアイテムを作り続けている。

【OPACA】(牛革)
【CI-VA】の中でも、さらに自然な革の風合いを求めたのが「OPACA」(イタリア語で“艶を消す”の意)。仔牛の原皮を選び、トスカーナ伝統の天然の植物タンニン鞣しによって、手染め風のムラ感と艶を消した染色が特徴。

「matiere naturelle plus」
add : 札幌市中央区南2条西4丁目 PIVOT-3F
tel : 011-231-7033
url : <http://s-bbd.com>

仔牛革に洗い加工が施されたレザートートバッグ。手や体に馴染む柔らかい風合いを築くため、金具や裏地をできる限り付けないシンプルな仕上がり。使い込むほど味わいや愛着が増し、永く愛用できる大人のためのバッグに仕上がっている。正面に施された型押しロゴはさりげないアクセントに。A4サイズが楽々入る取能力で、内側にはポケットも付いて機能的。適度なマチと肩にかけられるハンドルの長さは絶妙で、オン・オフどちらにも使えて便利。



サンフォージャーバッグ / SOUTH WEST8 / ¥6,300~

SOUTH2 WEST8

北海道から世界へと発信するブランドの代表作 古き良きアメリカの意志を受け継ぐバッグ

【SOUTH2 WEST8】

2003年に「NEPENTHES」の直営2店舗目としてオープンした札幌店から発信されるオリジナルブランド。ブランド名は、店舗の住所「南2条西8丁目」から由来。「ヘヴィーデューティー&アイビー」をテーマに、北海道の寒冷な土地に根付くハンティングやフィッシングなどのクラシック・アウトドア・スタイルを提案し、ウェアからバッグ・シューズ・アクセサリまでトータルで展開している。

【SOUTH2 WEST8】

add: 札幌市中央区南2条西8丁目2-1
tel: 011-280-7577
url: <http://www.south2west8.com>

世界に誇る北海道の大自然の中で、「クラシックアウトドア・デイトイルズ・モダンファッションウェア」をコンセプトに、新機軸のファッションアイテムをリリースし続けるブランド【SOUTH2 WEST8】。中でも、ブランドのアイデンティティーであるシンボルマークがあらわれた代表作「サンフォージャーバッグ」は、永く愛用できる定番として日本のみならず世界各地で人気を集めている。「サンフォージャークロス」とは、もともとテントやポートの雨よけに使われる、アメリカで100年以上の歴史を誇り、今なお生産されている伝統的なフアブリック。100%コットンのキャンバス生地でありながら防水性と耐久性に優れ、ポートの保護をするカバーやテントなどに使われているタフな生地は、「サンタン」と呼ばれる独特のカラーリングで、洋服との相性も良く、どんなスタイルに高い機能性と収納力を誇るバッグは、様々な用途に合わせた充実した品揃えを展開。普段使いはもちろん、ビジネスシーンなど幅広く活躍してくれる【SOUTH2 WEST8】店頭やオンラインサイトにて、「ナイロンバッグシリーズ」を含めたアイテムがフルラインナップで販売中。

壁一面にディスプレイされる多彩なバッグの数々。ライフスタイル全般のアイテムをコンセプトに展開する「Vendor sapporo」の中でも、ひと際充実しているのがバッグだ。メインブランドの【Innative】や、スウェーデンのアウトドアブランド【KLATTERMUSEN】フィンランドのライフスタイルブランド【nammekko】など国内海外問わずセレクトされたこだわりのアイテムが揃う中、フラッグシップとして展開するバッグ&アクセサリーブランド【hobo】に注目したい。

19世紀後半に世界的な不況下にあったアメリカで、職を求め大陸を放浪した労働者によって生まれた【hobo】。彼らの精神を既成概念にとらわれない創意と自由な発想のデザインとして受け継ぎ、国内の熟練した職人の手仕事によってプロダクトを生み出している。素材が持つあたたかい風合い、重量感のある付属パーツ、直線を排したデザインへのこだわりから生み出されたプロダクトは、使い込むほどに生活に馴染み、何物にも代え難いものとして育っていく。

【Vendor sapporo】では、「ファッション」としてのバッグと、「ギア」としてのバッグの双方を提案。前者は【Innative】などのリアルクローズにすんなりと馴染み、タウンユースとしてスタイリッシュに使えるもの。後者はタウンユースに限らずアウトドアシーンでも活躍してくれるハイスベックなもの。それぞれのスタイルや用途に合わせて選ぶことができる。今季は、英国の老舗生地メーカー【LIBERTY】別注フアブリックを使用した【Innative】のトートバッグや、サンフランシスコのブックストアで買い付けたキャンバーストートバッグなど、気軽に持ち運びしやすいトートバッグがおすすすめ。

【hobo】

2004年より【Innative】のアクセサリラインとしてスタート。自由な発想から生まれるデザイン、機能性、風合いを追求し、長く愛用できる物づくりを基本概念に置くブランド。日常生活の様々なシーンが想定されたプロダクトは、厳選した素材を使い、職人の手仕事によって生み出されている。

【Vendor sapporo】

add: 札幌市中央区南3条西1丁目10-1F
tel: 011-206-0135
url: <http://vendor.co.jp>

vendor sapporo

ドメスティックからインポート、ファッションからギアまで それぞれのライフスタイルから提案するバッグ



[vendor sapporo]
add: 札幌市中央区南3条西1丁目10-1F
tel: 011-206-0135
url: http://vendor.co.jp

vendor

独自のフィルターを透したライフスタイルを発信 ショップとしての提案を行うコミュニケーションの場

昨年9月、国内3店舗目となる直営店としてオープンした「vendor sapporo」。ファッションを中心に、音楽やカルチャーなどライフスタイル全般を網羅し、独自のフィルターを透したセレクトアイテムは、ここ札幌でも確実に支持を伸ばし続けている。「WE FIND, WE SELECT, WE BUY, WE SELL, TO LIVE FOR FUN.」をコンセプトに「Innateid」[Innateid]「Innateid」を「Innateid」をはじめとして、洋服に限らず、世界各国で巡りあった雑貨やガジェット、そしてインスピレーションソースとなった音楽や本まで、ライフスタイルを豊かにしてくれるアイテムを幅広く取り揃えている。「vendor」は、旅商人の雑然で活気のある露店のように、ジャンルにとらわれず、驚きと発見のあるアイテムを独自の視点で提案するセレクトショップです。ファッションを洋服といった狭義の意味に限定することなくカルチャーとしてとらえ、「WE

LIVE FOR FUN.」をメインコンセプトに、オルタナティブな価値観を発信しています。」とスタッフの亀田恭平氏は話す。

木材と鉄材を基調とした落ち着いた雰囲気の内には、洋服をはじめ、本やCD、陶器や植物まで幅広く取り揃えられ、独自のコンセプトである世界観を創り出している。また、動植物の標本やアンティークが随所に飾られているなど、細部に至るまでそのこだわりや遊び心が感じられる。

「ベースとなる内装コンセプトは、本店である中目黒、また2店舗目の名古屋と同じで、あたたかみのある木材を使った部分と、什器などに見られる鉄とのコンビネーションが魅力です。また、どの店舗も天井が高く、解放感があります。外観、内装においても単に洋服屋という概念にとらわれず、旅先の露店のような良い意味での雑多感を意識しています。その中で、自分に合うものをお客様自身に選んでいただける楽しみのある

ショップです。」

ここは、ただ商品を販売するだけの場ではない。空間が世界観を表現し、スタッフが接客を行い、ショップとしての提案を行うコミュニケーションの場であり、インターネットでは得られない、リアルなショップの存在意義を明確に示している。

「ただ単にアイテム一点を販売するだけではなく、スタイル提案、コーディネートまでをひとつの提案と考えています。お客様が持ちのアイテムを把握し、その中で「vendor」らしいスタイリングを丁寧に説明していただきます。定番ものもしっかりと理解しつつ、旬なアイテムを取り入れる着こなしがベースとなります。特に意識しているのはシルエットのサイズ感です。メインブランドの「Innateid」では、特にポトムスのシルエットを認知していただくことで、豊かなバリエーションが好評いただいています。」



『UNKNOWN VINTAGE STORE』

add:札幌市南2条西1丁目
第3広和ビル イースト-1F
tel:011-251-7301
url:http://www.unknown-sapporo.com



UNKNOWN VINTAGE STORE

NEW SHOP

物の本質をとらえた普遍的な定番
ルーツやバックグラウンドを追求したリアルクローズ

様々なカルチャーを発祥する英国物を中心に、ファッションからではなく実用から生まれたアイテムや普遍的な定番など、そのルーツやバックグラウンドを追求したリアルクローズを展開するヴィンテージストア『UNKNOWN VINTAGE STORE』。オーナーである河田裕一氏が、バイヤイとして長く培ってきた豊富な経験や深い造詣をもとに、自らの目と感性で厳選して買付けたヴィンテージやミリタリーモノをはじめ、レギュラーモノでも自身が面白いと感じるアイテムをセレクト。例えば、多くの著名人にも愛されてきた「Barbour」【Beistaff】のオイルドジャケットや、革靴の聖地ともいえるノーザンプトンで作られている英国製シューズ、旅への妄想を掻き立てるヴィンテージバッグなど、男らしく無骨な物の数々が並ぶ。現代の加工技術がいくら優れていようと、長い時間を経たぬものにしか出せない風合いと存在感を漂わせる物達からは、オーナーの深い愛情とこだわりを感じさせる。物の価値そして本質をとらえた、一生付き合える本物だけがそこに存在している。未分類の古着の俗称でもある『UNKNOWN』から名付けられたストアネーム。デザインやブランド名でない、名もなき逸品の数々を改めて照らし出すことは、近代のファストファッションに対してのアンチテーゼでもあり、ファッションの未知なる可能性を示している。

【JUILLET】

add:札幌市中央区北5条西2丁目
札幌ステラプレイス EAST-2F
tel:011-209-5448
url:http://juillet7.exblog.jp



時代背景やこだわりのある洋服
独自の感性で表現する”日常着”

RENEWAL
SHOP

JUILLET

ヴィンテージワークミラタリーを基盤に、古着や背景のあるブランドをセレクトしたコンセプトで、幅広い年齢層の女性から支持を集める『JUILLET』が、今年3月より『ステラプレイス』の地下1階から2階へと移店リニューアル。移店前は5坪という「蚤の市を彷彿させる小さな空間」が特徴だったが、移店後はフロア面積が2倍に増し、独自の世界観を広げながら、さらに具体的に表現している。ディレクターの砂原氏は「インショップでありながらも、路面店同様の個性を持ったショップ作り、サービスの提供していきたいと考えています。」と意気込みを語る。

店内には、素材や着心地にこだわったベーシックでシンプルなブランドや、各国から集めたヴィンテージやミラタリーを中心にセレクトされたアイテムが豊富に並べられる。古き良きワークやミラタリーをベースに、よそいきのファッションではなく、あくまでライフスタイルに根付いたデイリーカジュアルを展開。「パリのショールームに直接足を運び買い付けている、全国でも取り扱いの極めて少ない『khandi & co.』は、手織ぎ手織りのインド伝統生地『khandi.』を使用したコレクションで、手仕事ならではの不均一な生地感が魅力です。他にはない独特な存在感があり、ストールひとつにしても、ラフにひと巻きするだけで雰囲気が出ます。また、タオルやブランケットなどの『HOME LINE』、スキニーなどボトムスが得意なブランド『OMNIGOD』、コレクトレクリネンという最上級のベルギーリネンを使用したブランド『Vilas Blomme』など、NEWブランドも多数加わっています。」

その洋服自体が持つ時代背景やこだわりが感じられるアイテムを通じて、ナチュラルなスタイルを独自の解釈と感性で表現し、あくまでも「日常着」としてシーンに合った着こなしを提案。そんな「日常着」は、センスの良さをさりげなく感じさせ、日常生活での喜びを与えてくれるはず。「イメージしているのは、見普通だけれど、人とは違うその人らしさがある着こなし。ベーシックなアイテムに、ヴィンテージなどで独自のエッセンスを加えながら、らしさを表現していただきたいです。今季はシンプルでデザインでいて、こだわりのコットンやリネンなどの天然素材を使用したアイテムが多く、その素材感を生かした着こなしがおすすです。例えば、ホワイト×ホワイトなど同色コーディネートは、重ねる素材を変えることで、奥行きあるレイアウトを楽しんでいます。メンズライクなコーディネートでは、透け感のある素材などを取り入れることで、「こか上品な女性らしさ」を演出してくれます。」



ANATOMICA SAPPORO

NEW
SHOP

1994年、世界的なガリスマバイヤー、ピエール・フルニエ氏がパリにオープンさせた『ANATOMICA PARIS』は、現在のセレクトショップの起源ともいわれる伝説的ショップである。最先端のコレクションとは線を画し、揺るぎない独自の信念と感性のもと、徹底的にこだわり抜かれ表現されたコンセプチュアルなアイテムは、世界中のバイヤーから注目と尊敬を集め、今もなおファッションシーンに多大な影響を与え続けている。そして、2011年の東京『ANATOMICA TOKYO』に続き、今年3月に『ANATOMICA SAPPORO』が待望のNEWオープン！札幌のファッションシーンに確かな足跡を刻み、その大いなる一歩を踏み出した。

【ANATOMICA SAPPORO】

add:札幌市中央区南3条西8丁目

第一ビル1F

tel:011・219・1231

url:<http://anatomica-sapporo.com/blog/>

【ANATOMICA】

1994年、世界的に著名なバイヤーのピエール・フルニエ氏が、パリにオープンしたセレクトショップであり、そのオリジナルブランド。ピエール・フルニエ氏が追求する妥協のない、こだわりに溢れたコレクションは、独自の世界観と本物のエレガンスを表現している。【ALDEN】とのコラボレーションによる別注シューズもリリースするなど、その確かな審美眼と感性は世界中から注目を集めている。



フランスのコンセプトを継承しながら、
札幌独自のオリジナリティを
兼ね備えたショップ

ピエール・フルニエ氏自身による監修のもと、パリの本店の内装も手掛ける建築家リュース・フレイレイ・アメストイ氏が設計。必要最低限まで削ぎ落とされたシンプルな店内は、洗練された美しさを携え、落ち着きのある心地良い空間。本店の雰囲気も継承しながらも、「ANATOMICA SAPPORO」ならではのオリジナリティを兼ね備えた内装に仕上げられている。壁一面や什器に使用された木材は、経年により今後醸し出されるであろう味わいを想像させてくれる。また、エラスクルーシヴなアイテムの数々を取り揃える、路面店ならではの豊富なラインナップも大きな魅力。中でも「ANATOMICA」の「ALDEN」は、全て「モディファイドラスト」で作られる特別な仕様となっており、アメリカの計測器「プランクデバイス」を使用しているシューフィッターによる販売が徹底されている。



2004年にセレクトショップ『ARCH』をオープンして以降、時代や流行に左右されない独自の世界観とスタイルを確立し、札幌のファッションシーンを牽引し続けてきた山内公史氏。そして今年3月、彼自身の長年の憧れであり、多大な影響を受け続けてきた『ANATOMICA』の札幌店をオープンさせ、全国のファッションニスタやメディアから大きな話題を集めた。『ANATOMICA SAPPORO』にかける想いとこれからを尋ねる。

山内 公史 / 『ミサンガインターナショナル』代表

「まずは、御自身と『ANATOMICA』の出会いから聞かせてください。」
 『ANATOMICA』を知ったのは、1990年代の後半だったと記憶しています。当時働いていたショップで上司が『ANATOMICA』のワークジャケットを着ているのを見て、すぐに自分も購入しました。ちなみに、その時に買ったジャケットは今でも大切にしています。初めてパリの『ANATOMICA』を訪れたのは、2003年の2月頃でした。ショップから発するオーラ、品揃え、洋服の完成度、全てにおいてそれまでの自分の洋服に対する概念を覆されました。特に、ブランケットデバイスを使用して、シューフィッティングを行ってからシューズを販売するスタイルには衝撃を受けました。

「札幌店のオープンを決められた経緯について聞かせてください。」
 2012年の1月、パリで『ANATOMICA』をされている寺本欣児氏から誘っていたので、オーナーのピエールウルニエ氏、チャールズヌス氏、内装を手掛ける建築家のルイス・フレイレイ・アメストイ氏と共に食事をする機会があり、その際に『ANATOMICA』を札幌でやってみないかというお話をいただきました。もともと『ARCH』では2004年から取り扱っていた

ブランドでしたので、思い入れも一倍ありました。だから、そのお話をいただいた時は、自分の中では即決していました。

——『ANATOMICA』と『ALDEN』には深い関わりがあるようですね。

『ANATOMICA』の歴史、それはすなわちオーナーのピエールウルニエ氏の歴史でもあります。彼は1975年パリに『GLOBE』という現代版セレクトショップの源ともいえるショップをプロデュース。そして、1979年、その延長線上に『HEMISPHERE』をオープンさせました。「1979年、私が米国買付のため訪問した米最大の街ニューヨークにて、偶然1軒の『ORHOPEDIC（整形外科）』ショップを発見しました。俗に言う外反母趾矯正のための靴としてそれは販売されており、『モディファイドラスト』として完成されたストレートインサイドのシューズでした。ピエールウルニエ氏は語っています。それこそが、みなさんご存知の『ALDEN』の『モディファイドラスト』のシューズです。そして、『ALDEN』のモディファイドラストとの出会いから15年の月日を経て、ピエールウルニエ氏は1994年パリに『ANATOMICA』をオープンし、新たな概念を打ち出しました。それが、『ANATOMICA』

TRUTH, BEAUTY AND TRUTH, TIME HAS COME TO LOOK FOR GOOD FITTING」です。『ANATOMICAISM』は、今や世界各国の人々に認知されており、特に店舗スタッフがブランケットデバイスを使用し計測するシューフィッティングには、現在では誰もが認め、多くのリピーターを招いています。僕も含め、世界中の洋服好きに愛され続ける『ANATOMICA』が『ANATOMICA』である所以は、オーナーであるピエールウルニエ氏の上記で述べた、洋服に対する真摯な姿勢であると確信しています。

「その『ALDEN』をはじめ、店内にはこだわりを感じさせる商品が豊富に取り揃えられています。」
 商品構成はフランス、日本、イギリス、アメリカ、それぞれの得意分野で作られる『ANATOMICA』のウエアーが中心です。例えば、ニットは英国製、Tシャツはアメリカ製だったりします。ひとつのアイテムを完成させるのに、3年もの期間をかけることも珍しくありません。そして、『ANATOMICA』が特別にオーダーしている『ALDEN』のシューズは、日本ではこの「札幌店」と『東京店』でしか手に入りませ



「『ANATOMICA』の魅力について、御自身はどのような捉えられていますか？」

基本的に『ANATOMICA』では、シーズン限りのウエアーは存在しません。「未代に残すべき良質な洋服と素材が見つかった場合のみ、それを具現化します。」というコンセプトのもと物作りは行われています。よって、全季定番であり、長く愛用できるものばかりです。僕自身、『ARCH』をオープンさせる以前から『ANATOMICA』、そしてオーナーであるピエールウルニエ氏の洋服に対する考え方に、ずっと影響を受け続けてきました。だから、今の『ARCH』は『ANATOMICA』の存在なくしては語る事ができません。今までは『ARCH』というフィルターを通して『ANATOMICA』を展開してきましたが、これか



「木材を基調とした、シンプルで洗練された空間も印象的です。」
 内装は、ピエールウルニエ氏の古くからの友人でもあり、74歳のバスク出身の建築家、ルイス・フレイレイ・アメストイ氏が手掛けています。今回のショップを作るにあたって、約1年の期間を要し、彼らの来日が4回、僕が渡仏したのが4回と、計8回に渡って打ち合わせを重ねて完成したショップです。内装や什器に対する考え方も、日本人の発想にはあまりない独自なもので、大変でしたがやりがいのある仕事でした。

「では最後に、御自身にとって『ANATOMICA』とはどのような存在なのでしょう？」
 『ANATOMICA』とはどのような存在なのでしょう。ピエールウルニエ氏がパリで200年かけて削り上げてきたもの、良きパートナーであり、自分の中では永遠に偉大な存在です。



RIISING SUN ROCK FESTIVAL 2013 in EZO THE SOLAR BUDOKAN IN EZO



JOIN ALIVE

date : 2013.7.20 (sat)・21 (sun)・22 (sat)・23 (sun) 4日間実行
time → 毎日 open 9:00 / start 11:00 / close 21:00 予定
place : いわみざわ公園
(秋田県鷹巣市多田山北海道グリーンロード遊園地)
info : [Join Alive] tel:011-231-5600
(平日 11:00~14:00 / 15:00~18:00)
url : http://www.joinalive.jp



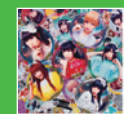
4回目を迎える今年は、2週に渡り全4日開催! 海外から Emi Meyer や GARY CLARK JR. などが初登場!

自然・音楽・アミューズメントのコラボレーションをテーマにした野外フェス【JOIN ALIVE】。4回目を迎える今年は、7月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)の2週に渡って全4日開催という、全国でも類を見ない形態での開催となる。第2弾として、海外から【Emi Meyer】や【GARY CLARK JR.】などを含む、計62組の出演者を発表。今後の追加発表にも期待が高まる!



PICK UP!
でんば組.inc

でんば組 .inc
古川未鈴、相沢梨紗、夢眠ねむ、成瀬瑛美、最上もが、藤咲彩音の6人組ユニット。メンバーはもともと、アニメ・漫画・ゲームなど、自分の趣味に特化したコアなおタクでもある。「秋葉原ディアステージ」に所属し、活発なライブ活動を展開。国内外のイベントへの参加や、様々なクリエイターとのコラボレーションなど活動の幅を広げている。5月29日に最新シングル「でんでんばっしょん」をリリース予定。
url: http://dempagumi.dearstage.com



5/29 (wed) 発売決定!
「でんでんばっしょん」
TFCC-89439 / ¥1,000 (tax in)
楽しいことがなまかバカみたいじゃん!? でんば組.inc が贈るお祭りソング!



佐藤:今、「RSRFES」のステージをひとつ作ろうと準備をしているんですけど、ある程度最低限のインフラが整っている中で人が生活をしていて、そこに音楽があって、野外フェスはいわゆる小型の集落ですね。それを自然エネルギーでまかなうというのは、すぐに実生活に結びつく良いサンプルになるわけですから、絶対に大きな意味があると思います。特に北海道は自然が豊かな分大きな可能性を秘めていて、東京よりも選択の自由が高いと思うんですね。だからこそ、この<THE SOLAR BUDOKAN IN EZO>が 良い結果として近い未来へ結びつくと確信しています。

全文はウェブサイトにて <http://www.pilotfree.com>



【LIVE】6/30 (sun) open 17:30 / start 18:00
PENNY LANE24 <チケット ¥5,250>

THEATRE BROOK
1986年に佐藤タイジ (Vo.Gt) が結成、1995年メジャーデビュー。1995年に中條康 (Ba)、1996年にエマソン北村 (Key)、1997年に沼澤尚 (Dr) が参加し、様々な遍歴を経て、日本屈指の上記4名をメンバーを擁したバンドとなる。アルバムなども勢力的にリリースを重ね、様々な大型フェスを大いに沸かせる。2007年に活動休止をするも、2年間のソロ活動を経て活動再開。2012年12月には、2年半ぶりとなる9thアルバム「最近の革命」をリリース。そして、ついに復活後の目標でもあった武道館ライブを、ソーラーの電気だけで行う企画<THE SOLAR BUDOKAN>を成功させた。
url: http://www.theatrebrook.com

東日本大震災以降のエネルギー問題を踏まえて、昨年12月、太陽光発電でのロックフェス『THE SOLAR BUDOKAN』を実現させた【THEATRE BROOK】。その想いを継続し、さらに発展させるべく、『RIISING SUN ROCK FESTIVAL 2013 in EZO』では<THE SOLAR BUDOKAN IN EZO>の開催が決定…!当日は、太陽光で電気を溜めた蓄電池を使用し、太陽光エネルギーだけのライブを実施。クリーンな太陽光での、最高のロックエンターテインメントが繰り広げられる!

昨年開催された<THE SOLAR BUDOKAN>は、様々な分野に渡って大きな反響を呼びました。佐藤タイジ(以下 佐藤):実は、太陽光エネルギーでためた蓄電池は音もすごく良いんですけど、考えてみると当然で、発電所からいろんな箇所を通るうちにノイズが入るんですね。今までもオレのマーシャルは鳴っていて、それでも別問題はないんですけど、電池に直で差し替えて試してみたら、2メートルくらいの距離だからノイズが乗らないし、低域も高域も伸びてレンジが広がるんですね。きれいだから音もでかく聞こえるんですよ。やったー!って道がピカッと照らされた感じがした。音楽業界は今落ち込んでいますが、アナログからCD、ダウンロードに変わって、テクノロジーの進化と共に音は進化したのかを考えた時に疑問が残るんですね。ビジネスの都合の良さだけが先行して、音の良さが進化していなかった気がするんです。音楽業界の人が怠っていたわけではなくて、そこを見落としていたのかもしれないですね。そのことに気がつけたのも3.11があったからなんです。



【RIISING SUN ROCK FESTIVAL 2013 in EZO】
date : 2013年8月16日 (fri)・17日 (sat) (雨天決行)
time : 16日 open 10:00 / start 15:00 / end 23:00 予定
17日 open 10:00 / start 12:30 / end 5:00 (18日) 予定
place : 石狩湾新港樽川ふ頭横野外特設ステージ(小樽市銭函5丁目)
info : 011・614・9999 (平日 11:00~18:00)
url : http://rsr.wess.co.jp/

生き残った我々が、3.11を大きく変われるチャンスとして、肯定的な物にしていけないといけないんですね。
>反対し続けるのは難しいけど、賛成するのは継続しやすいというのは、逆転の発想ですね。佐藤:原発のシステムは崩壊しているし、反対しなくてはいいんですけど、続けるというのは大変なんですね。反原発の集会に参加すると、ずっと反対し続けている方々はくたくたに疲れ切ってしまう気がするんですよ。言い続けること、継続性というのは一番大事なことで、そういうやり方にしないと逆にやられてしまう。結果が同じになるのであれば、賛成というのは無責任かもしれないんですけど、楽なんですよ。ことエネルギーに関していえば、自然エネルギー賛成になるのであれば、必ず同じ結果になるはずなんです。おっかないエネルギーから、子供達や未来を遠ざけることができるわけですから。継続できる道を辿っていった先に、<THE SOLAR BUDOKAN IN EZO>があったんですね。こういう時代だから自分達でできることを増やしていくべきだし、オレはエネルギー選択の自由は、あっていい自由だと思うんですよ。ずっとロックを聴いてきて残っているものって、自由を主張することなんですよ。能動的に主張することは当然で、受動的な自由なんて無いんですね。我々がどんな未来をイメージするかで、本当に時代は変わってくるので、今はできる限り自分のクリエイティビティを先へ行かせるのが正しいような気がしています。
>『RSRFES』では<THE SOLAR BUDOKAN IN EZO>が開催されることが決定しました。



札幌音楽シーンの明日を切り開く ついに現れた、新世代トラックメーカー



近頃、弱冠18歳の女の子が奏でるエレクトロニカが、札幌の音楽シーンの中で静かな注目を集めている。トラックメイカーとして音楽活動始めて、僅か1年半あまり。自然に受け入れられるポップなメロディーが持ち味の楽曲は、今まさに成長過程である技術や経験を補う、音楽を楽しむという極めてシンプルな初期衝動が聴く者を引きつける。「エレクトロニカを特に意識したわけではなく、それまでに聴いたこともほとんどなくて。最初に使ったフリーソフトが、もともと入っていた電子ソフトで、遊んでいるうちにいつのまにかそうなっていた感じです。高校時代はコピーバンドでベースを弾いていたんですけど、オリジナルはやっていなくて、アジカンとかの曲を演奏していました。」

得意ではないので、iPhoneの曲を作るアプリとかを使って寝る前に遊んだりしながら、浮かんできた小節を拾って膨らませていきます。特にひとつのことを考えながらというより、自分の身のまわりの様子や、あまり明るい性格ではないので、不安なことやネガティブな気持ちとかを曲にぶつけている感じで、うまく音にならない時は寝てます(笑)。」

4月6日には『Soundlab mole』で初ライブを行い、その姿と共に生のプレイを披露。手探りで感触を確かめながら、次第に熱が籠っていくパフォーマンスは、音源とも印象が異なる、より人間的な表情を覗かせた。「すごく緊張しましたが、やってみて良かったんです。あまり人前が出るタイプではないので、新鮮な出来事が多すぎて、ライブ中の記憶はほとんど無いんですけど(笑)。」

デザイナーの濱口翼が主宰するソロプロジェクト【PATANICA】がア트워크を手掛け、ライブの際にはVJも行うなど、こだわりあるビジュアルにも注目。また、ポーランド在住アーティスト【Glitch】氏によるリミックスも収録されるなど、今後は楽曲制作と並行しながら、道内に留まらず、本州や海外などでの活動も視野に幅広い活動を行っていく。「頑張って音楽活動を続けて、もっと多くの人に聴いてもらって、最終的に【Skrillex】とお友達になるのが夢です！」ひとつひとつ慎重に言葉を選びながら話す彼女に、ふと、ごく普通の女の子らしい笑みがこぼれた。



Orion(クリオン)
札幌在住、18歳。2013年3月、札幌のインディーズレーベル【SenSe】より2作品を無料ダウンロードにて連続リリース配信。
url: <http://www.sense-sapporo.jp>



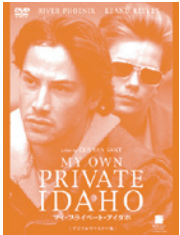
無料ダウンロード配信
[no title (blue)] url: <http://www.sense-sapporo.jp/release/05/>
[no title (red)] url: <http://www.sense-sapporo.jp/release/06/>



第4回

「マイ・プライベート・ アイダホ・ポテト」の巻

萩原 ながら



『マイ・プライベート・アイダホ』
1991年、アメリカ映画。ガス・ヴァン・サン監督・脚本による、「ポートランド三部作」の一作。

全道のテレビや映画を観ながら食事するタイプのみなさん、こんにちは。どうせ観ながら食べるのならば、より美味しく頂きたい。そんなささやかな願いを叶える、ながら食事の「三ツ星的食い合わせ方」を紹介しします。

今回紹介する『マイ・プライベート・アイダホ』は、故リヴァー・ウェニックス主演のロードムービー。

ロードムービーとは、やはり道路が登場してなんぼ。道路にはなりません。そして、その道は一体どこへ向かっているのでしょうかねえ...と遠く想いを馳せるのがロードムービーの醍醐味。そんな想いを巡らせながら、何をつまむのかを考えるのも「シネマ食いしん坊」の醍醐味なのです。

物語はリヴァー・ウェニックス扮する男娼マイクが親友のスコット(キアヌ・リーブス)と共に、母親を訪ねてしまったお話し。マイクはナルコ



カリッと揚げたフレンチ・ポテト 4人前

- 今回用意するもの
- ・「マイ・プライベート・アイダホ」のDVD
 - ・カリッと揚げたポテト(サッポロポテトでも可)

レブシー、という、ストレスを感じるどころでも眠つてしまいう重い病を患い、しよっちゅう倒れてなにかと騒動を起こしてしまふのですが、そんなマイクをスコットは気にかけてながら、ふたりはマイクの母親探しの旅へと出かけます。男娼で日銭を稼ぐふたりは、道中アイダホのホテルで変態紳士ハンスと出会います。ハンスは彼らを部屋に招き、風呂につかるマイクに「ルームサービスでも頼むか?」と尋ねると、マイクは「フレンチポテト、カリッと揚げたの4人前とコーラ」と頼みます。この台詞はまさしく、『山岡家』でいうところの「特製味噌、麺硬めの中盛り」に「小ライス」と注文しているようにも聞こえます。

「シネマ食いしん坊」としてはたまらないフレイズ...しかも、アイダホといえばポテトの聖地。さぞかし旨いことでしょうな。このポテト...」となります。と、ここであらかじめ用意しておいた「マイ・プライベート・フレンチ・ポテト」をコピーすれば、あなたももう立派な「シネマ食いしん坊」! ちなみに...変態紳士ハンスはこのシーンの後、ふたりの盗んだバイクを知らずに買われ、スピード違反で捕まりますが、紳士なので警察の尋問にも素直に応じます。ラストはちゃんと道路で終わります。ぜひ、お試しあれ!

ウェブサイト
<http://www.pilotfree.com>
【PILOT magazine】(デジタル版)やウェブサイト限定の特別企画など、北海道カルチャーを独自に発信しています。

ツイッター
@pilot_tweet
次号の発刊日や最新情報などを随時お知らせしています。

【PILOT magazine】 April, 2013

スタッフリスト

出版 / プロデュース
Pilot Publishing
<http://www.pilotfree.com>

【パイロット】ではクリエイティブな才能を幅広く募集しています。
【パイロット】では、クリエイター・フォトグラファー・イラストレーター・ライターなど様々なクリエイターを募集しております。
地元カルチャーと一緒に築いていきませんか?
それぞれ下記、Eメールよりお問い合わせください。

デザイン
EXTRACT <http://www.extract.jp>
境田 逸人 (bond graphic) <http://bondgraphic.jugem.jp>
高橋 大晴 <http://www.hand-to-eye.com>

フォトグラフ
アキタ ヒデキ (tootootoo) <http://akitahideki.com>
田中 将大 <http://www.ac.uaone-net.jp/~shutter/>

お問い合わせはEメールのみで対応を致します。
広告掲載のお問い合わせは下記まで御連絡ください。

印刷
株式会社 総北海 <http://www.sohokkai.co.jp>

有限会社パイロットパブリッシング
Eメール info@pilotfree.com
ウェブサイト <http://www.pilotfree.com>

Pilot Publishing co.,ltd. All right reserved
© 本誌掲載の写真・記事の無断複写・複製・転載・引用を固く禁じます。



1



2



3

1 エクストラライト トラペラージャケット / Blu e Grigio / ¥26,900-
ウールの糸にシルク100%を巻きつけた糸を織り上げた生地は軽
量で、さらに強靱したメッシュ組織がビジネス対応に最適な防シワ
効果もあり、サラッとした感覚で軽快。最高の着心地、持った瞬間
の驚きの軽さが特徴。

(Blu e Grigio)

ブランド名は、イタリア語で「ブルーとグレイ」を意味。ドレスクローズン
グでは、1954年創業の日本国内唯一のスーツファクトリー「リングジャケッ
ト」とコラボレーションブランドを開発。カジュアルでは、ヨーロッパ
ブランドをベースにした「リッチ&マチュアー」がコンセプト、ベーシックと
トレンドを絶妙な感覚で MIXしたアイテムが揃う。

2 製品染めカラーパンツ / MASON'S / ¥15,750-

(カラー: レッド・イエロー・パープル・ピンク・サックス・ホワイト)

シルエットが美しく、ジャケットとの相性も抜群。ソフトでナチュラル
な雰囲気とフェード感、長年着込んだようなヴィンテージ感溢れ
る風合いが魅力。

(MASON'S)

1974年、イタリアFOSTER社のオーナーであるマルチーニ氏により創
業。オーセンティックで証文かつ機能的なコンピリア解放軍のミリタリー
ウェアをヒントにスタート、デザイナーのマッシモ・ベルテリ氏と共に数
多くの素材と加工の研究を繰り返し、世界各地の著名セレクトショップで
も取り扱われるブランドへと成長した。

3 インポートファブリック リネンシャツ / ¥9,900-

(カラー: サックス・ブルー・ネイビー・ダークネイビー・ピンク)

イタリアの生地メーカーならではの美しい発色が魅力のリネン
100%シャツ。パンツインできる着丈なので、ジャケットやパンツとの
合わせも◎。ノータイでも美しくキマるホリゾンタルカラーを採用。

(アルビニ社)

1876年、イタリア・ベルガモにて創業。多くの高級メゾンに顧客を持つ、
シャツ生地の名門。

2004年10月の誕生以来、「世界共
通語」というストアネームを体現した
「世界に通用するファッション」を展
開する「UNIVERSAL LANGUAGE」を展
開する。誕生から10年目という節目
を迎える今年3月、百貨店初出店と
なる天丸札幌店と天丸心斎橋店が
オープン。成熟したストアブランド
として、さらに意欲的な挑戦を続けて
いる。「天丸札幌店」のフロアでは、上
質さとこだわりを徹底的に追求した
ドレスクローズンと国内外から別
注やセレクトされた多彩なカジュアル
を展開中でも、得難くするジャケッ
トやスーツは、クオリティとコストハ
フォーマンスの両立に優れており、
業界内での評価も高く、今後さらに
注目を集めるはずだ。

「世界中を、あなたのクローゼットに」という「UNIVERSAL LANGUAGE」のコンセプトのもと、「天丸札幌店」ではアワード40の大人の男性へ、向けてジャケットなどクローズンクアイテムを中心に、「UNIVERSAL LANGUAGE」の代表的なアイテムを取り揃えています。その中から「トータルコーデ」が得意なアイテムが特徴で、コンセプトを意識した「クローゼットのような空間」を演出しています。単にビジネスアイテムだけではなく、シューズやバッグなど関連アイテムまで幅広く展開しています。と、「天丸札幌店」スタッフの田路氏は話す。

その圧倒的な商品力で、素材や縫製にこだわったオリジナルアイテムや、国内外のファクトリーブランドやデザイナートとのコラボレーションアイテムなどが常に豊富に取り揃えられます。「UNIVERSAL LANGUAGE」が打ち出す、常に新しく洗練されたスタイルは、「コーデ」の楽しさを改めて教えてくれる。

「ベーシックかつトレンドイシヨナルなジャケットパンツスタイルを中心に、旬なアイテムを取り入れることで、新鮮なコーデを実現させます。おすすめの「UNIVERSAL LANGUAGE」がプロデュースする「トップ・イン・ジャケット」は、日本のスーツファクトリー「リングジャケッ」がデザインし、縫製の技術指導を行っています。通常、タイトなシルエットはここにストレスを感じますが、いせ込み、前振りの袖付けなどのパターンメイキングと、ハンドメイドならではの着用感でスリムフィットな見た目からは想像できない、ストレスフリーな着用感や美しい、ストレスフリーな着用感や美しい、フェイバリットな着用品や、最大の特徴は、本人特有の体系に合わせた、着たものだけがわかる着やすさです。今後もオリジナルアイテムの開発から、国内外のブランドとのコラボレーションアイテムなどが続々と展開されますので、期待ください。」

都会の大人達のためのストアブランド 百貨店初出店となる『天丸札幌店』が NEW オープン!



「UNIVERSAL LANGUAGE 天丸札幌店」
add: 札幌市中央区北5条西4丁目7番地 天丸札幌店-6F
tel: 011・233・0722
url: <http://www.uktsc.com>

UNIVERSAL LANGUAGE

世界中を、
あなたのクローゼットに。



UNIVERSAL LANGUAGE 大丸札幌店

北海道札幌市中央区北5条西4-7 大丸札幌店6F TEL011・233・0722 営業時間 10:00~20:00 ※メンズのみ

大丸心斎橋店 TEL06・6252・5570 ※メンズのみ

渋谷店 TEL03・3406・1515

新宿店 TEL03・3226・3316

ラゾーナ川崎店 TEL044・541・7030

クイーンズイースト横浜店 TEL045・680・083 [4.26 OPEN]

ONLINE SHOP <http://store.uktsc.com>